

長野地方検察庁 検察事務官

PUBLIC PROSECUTORS OFFICE

採用事務説明会



社会正義のために働く

日にち:

2023

6/19(月) ~ 6/23(金)

6/26(月) ~ 6/28(水) の8日間

時 間: 各日 10:00~12:00、13:30~15:30の2回

対象者: 2023年度一般職試験(大卒程度)受験者
2021年度、2022年度一般職試験(大卒程度)合格者

場 所: 長野地方検察庁本庁 (長野市旭町1108)

申込方法: 事前にメールで申し込んでください

E-MAIL: ppo12-somujinji.e8a@i.moj.go.jp

申込みは、こちらをクリック (タップ)

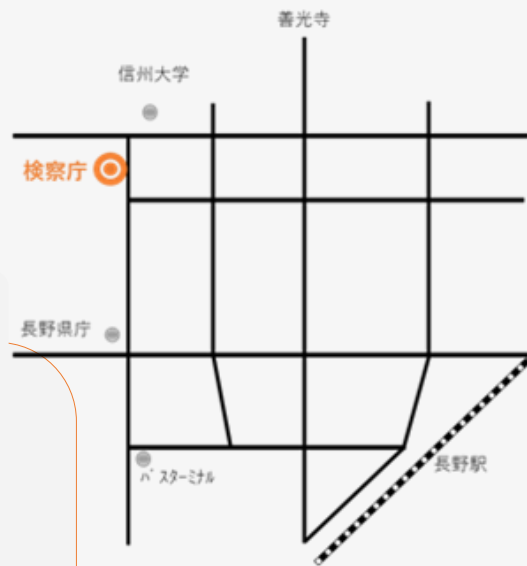
※クリックしても正常に作動しない場合は、上記アドレスをコピーするなどし、メールを送信してください。

●メール記載要領

件名:事務説明会参加希望

本文:氏名・ふりがな、年齢、電話番号、希望日時(第二希望まで)

本文(例):長野 太郎(ながの たろう)、22歳、090-
××××-××××、第一希望 6月19日10:
00、第二希望 6月20日13:30



長野地検採用情報



検察事務官採用
イメージムービー

問合せ・当日申込 総務課人事係

TEL 026-232-8191(土日祝日除く)

※本説明会への参加の有無は、選考活動には一切影響しません
※軽装可(ネクタイ・上着不要)

【検察広報動画】「厳正公平・不偏不党 検察庁」

<https://youtu.be/u2RNLFguWwo>

長野地検職員からのメッセージ

説明会当日は、知りたいことや気になることを、現役事務官に直接聞いてみてください。

【立会事務官・男性】 検察官の立会事務官として検察官の職務である事件の捜査・公判の補助や、別の捜査官の起訴前の点検等決裁の補助を行ったりしています。大変重い責任を伴い、公務を扱う者としての自覚を常に問われますが、大きなやりがいや達成感を感じられる仕事だと思います。また、**検察事務官には、内部試験に合格することで、副検事等になれる道が開かれています。** 現在私は、副検事を目指し勉強している最中ですが、その上での試験対策や捜査等の経験を積むための職場環境については、長野地検だけでなく、検察庁全体でサポートを受けられる態勢が整っています。一言で検察事務官と言っても、その職務内容は幅広く、様々な道が開かれていると思います。

【検務部門・男性】 事件係では、警察等の捜査機関から送られてきた事件が、法律に決められた手順に従っているかどうかを確認し、事件記録の受理手続を行います。さらに、検察官が捜査を終え、事件の処理を行う際も手続が適正に行われているか確認します。正確かつ迅速に手続を行わなければならないので、責任感もありますが、とてもやり甲斐のある仕事だと思います。

長野地検の雰囲気はとてもアットホームで、上司や先輩は相談にもしっかりと乗ってくれますし、的確なアドバイスをもらえます。支部で働いていますが、人数が少ないこともあり、幅広い仕事を経験することができ、とても勉強になっています。

コロナ禍で難しくなりましたが、**仕事以外では、若手中心にフットサルやキャンプなどをやっています、仕事ではお会いすることのない検事や先輩方と交流できたり、長野の自然の中で体を動かしてリフレッシュする機会にもなっています。**

【育休取得者・男性】 長男の出生に伴い、1年間の育児休業を取得しました。子育ては想像していたよりも大変ですが、**育児休業を取得したことで、一生に一度しかないこの時期を妻子と過ごすことができ、大変充実した日々を送っています。** 1年間という長期の育休を取得することに迷いはありましたが、取得して良かったと思っていますし、快く育休を取らせてくれた上司、同僚、後輩には本当に感謝しています。同僚、後輩にも育児に伴う休暇・休業を積極的に取得してほしいと思います。

《人事担当者メモ》

令和3年度、令和4年度における育休取得率は、女性**100%**、男性でも**50%**が育休を取得しています。

男女を問わず、ワークライフバランスを実現するための各種制度が用意されていますし、職場としてもサポートします！

【立会事務官・女性】 検察官の立会事務官として、捜査公判に従事する検察官とペアで仕事をしています。立会事務官の職務内容は多岐にわたり、検察官の取調べに同席するだけでなく、捜査が円滑に進むよう、検察庁内部の各部門や警察などの関係機関との連絡調整、刑事訴訟法等に基づく各種手続きや書類の作成も行っています。時には、検察官から事件について意見を求められることもあり、刑事訴訟法等の関係法令の知識のほか、多角的な視点も必要となります。

また、**被害者の方や参考人の方と接する機会も多く、事件関係者の方の精神的・肉体的負担に配慮する気遣いや思いやり等も求められます。** 検察官と共同して事件の捜査に当たっているため、事件の真相を解明し、適正な処分が決定されたときは、達成感がありますし、大変やりがいのある仕事だと思います。

【検務部門・女性】 証拠品担当の仕事は、その名のとおり、警察等から事件に関する証拠品の送致を受ける窓口であり、証拠品に関する一切の事務を担当します。証拠品には、覚せい剤などの違法薬物、携帯電話、メモ紙、髪の毛などのDNA型鑑定試料などの本当に様々な物があります。私たちは、それらの証拠品の受入・保管・処分の事務を行っています。扱う証拠品に関係する方々の権利等に注意を払いながら事務を行うなど、責任は伴いますが、とてもやり甲斐のある仕事です。

検察庁には事務系の仕事から捜査系の仕事まであり、業務ごとに必要な知識は変わってきますが、分からないことがあれば上司や先輩方が丁寧に教えてくださいますし、様々な知識を吸収でき、自らの成長にも繋がると思います。

《人事担当者メモ》

男性の職場と思われがちですが、**女性検事や女性事務官も数多く活躍**していて、年々増えています。

また、法律を扱う官庁ではありますが、**法学部出身である必要は全くありません。** 入庁してから、実務で使う法律をしっかり学ぶことができます！